

「第7期南砺市障がい福祉計画」第2回策定委員会 議事概要

開催日	令和5年12月21日(木) 14:00~15:40																																						
場 所	南砺市地域包括ケアセンター 2階 多目的研修室																																						
出席委員	<p>12名</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>南砺市社会福祉協議会</td> <td>中山 繁實</td> <td></td> </tr> <tr> <td>南砺市身体障害者協会</td> <td>宮崎 平作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>南砺市手をつなぐ育成会</td> <td>西部 穰</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人 溪明会</td> <td>室崎 千絵</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人 マーシ園</td> <td>中盛 京子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>富山県立となみ総合支援学校</td> <td>安谷 亜佐美</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砺波圏域障害者基幹相談支援センター</td> <td>吉田 孝則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>独立行政法人国立病院 北陸病院</td> <td>吉田 光宏</td> <td></td> </tr> <tr> <td>富山福祉短期大学</td> <td>鷹西 恒</td> <td>委員長</td> </tr> <tr> <td>公募委員</td> <td>長谷川 京子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公募委員</td> <td>増山 豊輔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公募委員</td> <td>沢田 千秋</td> <td></td> </tr> </table>			南砺市社会福祉協議会	中山 繁實		南砺市身体障害者協会	宮崎 平作		南砺市手をつなぐ育成会	西部 穰		社会福祉法人 溪明会	室崎 千絵		社会福祉法人 マーシ園	中盛 京子		富山県立となみ総合支援学校	安谷 亜佐美		砺波圏域障害者基幹相談支援センター	吉田 孝則		独立行政法人国立病院 北陸病院	吉田 光宏		富山福祉短期大学	鷹西 恒	委員長	公募委員	長谷川 京子		公募委員	増山 豊輔		公募委員	沢田 千秋	
南砺市社会福祉協議会	中山 繁實																																						
南砺市身体障害者協会	宮崎 平作																																						
南砺市手をつなぐ育成会	西部 穰																																						
社会福祉法人 溪明会	室崎 千絵																																						
社会福祉法人 マーシ園	中盛 京子																																						
富山県立となみ総合支援学校	安谷 亜佐美																																						
砺波圏域障害者基幹相談支援センター	吉田 孝則																																						
独立行政法人国立病院 北陸病院	吉田 光宏																																						
富山福祉短期大学	鷹西 恒	委員長																																					
公募委員	長谷川 京子																																						
公募委員	増山 豊輔																																						
公募委員	沢田 千秋																																						
欠席委員	<p>3名</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>南砺市民生委員児童委員協議会</td> <td>得能 金市</td> <td>副委員長</td> </tr> <tr> <td>NPO法人南砺市医師会</td> <td>清水 幸裕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人 わらび学園</td> <td>横山 知江</td> <td></td> </tr> </table>			南砺市民生委員児童委員協議会	得能 金市	副委員長	NPO法人南砺市医師会	清水 幸裕		社会福祉法人 わらび学園	横山 知江																												
南砺市民生委員児童委員協議会	得能 金市	副委員長																																					
NPO法人南砺市医師会	清水 幸裕																																						
社会福祉法人 わらび学園	横山 知江																																						
傍聴者	なし																																						
事務局	<p>10名</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>地域包括医療ケア部長</td> <td>松田 哲也</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域包括医療ケア部次長・地域包括ケア課長</td> <td>大橋 誠</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合政策部次長・こども課長</td> <td>溝口 早苗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域包括医療ケア部福祉課課長</td> <td>上野 真希</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係長</td> <td>日西 木の实</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係副主幹</td> <td>澤山 絵里</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係主任</td> <td>足立 和哉</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係主事</td> <td>片山 千裕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係主事</td> <td>土居 弥鈴</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係主事</td> <td>本谷 航仁</td> <td></td> </tr> </table>			地域包括医療ケア部長	松田 哲也		地域包括医療ケア部次長・地域包括ケア課長	大橋 誠		総合政策部次長・こども課長	溝口 早苗		地域包括医療ケア部福祉課課長	上野 真希		障害福祉係長	日西 木の实		障害福祉係副主幹	澤山 絵里		障害福祉係主任	足立 和哉		障害福祉係主事	片山 千裕		障害福祉係主事	土居 弥鈴		障害福祉係主事	本谷 航仁							
地域包括医療ケア部長	松田 哲也																																						
地域包括医療ケア部次長・地域包括ケア課長	大橋 誠																																						
総合政策部次長・こども課長	溝口 早苗																																						
地域包括医療ケア部福祉課課長	上野 真希																																						
障害福祉係長	日西 木の实																																						
障害福祉係副主幹	澤山 絵里																																						
障害福祉係主任	足立 和哉																																						
障害福祉係主事	片山 千裕																																						
障害福祉係主事	土居 弥鈴																																						
障害福祉係主事	本谷 航仁																																						

1 開会

(午後2時～)

事務局：本日は、委員15名中12名の方にご出席いただいております。本要綱第6条第2項の規定により、本委員会は成立することをご報告いたします。

2 挨拶

委員長：本日は圧雪になっている中、緊張しながら運転してきました。南砺市は、どんな大雪でも会議が開始されるなど思っております。先ほどから日差しが出てきましたが、夕方から雨が降り油断すると言われていています。射水市、高岡市は小学校が休校ということも聞いています。

さて、本日7期南砺市障がい福祉計画策定委員会ということで、膨大な資料をお送りいただきました。本日はよろしく願いいたします。

(事務局より、資料の確認)

3 議事

(1) アンケート調査結果について

(資料に基づき事務局から説明・・・資料1・資料2)

委員長：只今の説明にご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。

委員：(意見・質問なし)

(2) 第7期障がい福祉計画(素案)

①障がい福祉計画の数値目標について、

②障害福祉サービスの推移及び見込量について

(資料に基づき事務局から説明・・・参考資料・資料2・資料3-1・資料3-2)

委員長：只今の説明にご意見ご質問等ありましたら、お願いいたします。

委員：砺波地域障害者自立支援協議会と福祉課の関係を教えてください。相談先は、どちらがよいのですか。

事務局：市福祉課は砺波地域障害者自立支援協議会の事務局としての立場です。砺波圏域障害者基幹相談支援センターも同じ立場です。相談支援先としては、福祉課でも良いですし、障害者基幹相談支援センター、相談支援センターあいでも大丈夫です。本日、基幹支援センターのパンフレットも配布させていただいておりますので、ご確認下さい。

委員長：ほかにご質問等が無いようですので、順番にご意見を願います。

委員：素案9ページの「第2章障がい者(児)の現状と課題」の記載内容の中に、割合での表現と%での表現が混在しています。ほかの文章との表現を統一した方がよい

と思われます。また素案 11 ページの「手帳の所持者数は増加傾向にあり、」と記載されていますが、表からは読み取ることができない等いくつか見受けられるため、文章の整合について事務局と調整させてください。

委員：サービスの恩恵を受けるのは利用者であり、その利用者には色々な事情があります。目標数値が先行しないようにしていただきたいと思います。数値に引っ張られないように、利用者の立場にたって対応をお願いします。また、いろんなサービスが充実していますが、申請が煩雑になってきています。手続きが複雑だから利用をあきらめることの無いようにお願いします。

事務局：サービス利用は、一人ひとりの状況を確認させていただき、これまでも相談支援専門員と共に進めているところであり、目標の数値になるから受けないということはありません。また、手続きについては、どうしても制度で定めてあるものは必要ですが、ご自分で手続きするのは大変ということは理解しているので、また手助けしながら進めていきたいと思っています。

委員長：質の問題は大事です。目標を達成するだけでなく、どういう経緯で利用者の生活の質を向上させるかが大切なので、よろしくをお願いします。

委員：コロナが落ち着き、ショートステイやデイサービスが再開していますが、小さい病院やグループホームは面会制限しているところがあります。感染経路は、面会ではなく、職員が罹患し持ち込んでいるケースが多い中で各施設に対し、市として面会制限について指導してほしいと思っています。

委員：前回計画はコロナでサービスの利用がなかなか進められなかったと思います。今後は5類移行に伴い、利用者や保護者から利用の希望が出てくるかと思われるので、協力をお願いします。

委員：障がい者になって一番困ることは、今後どうしていいかわからないことだと思います。アンケートにあるように、相談先は家族・親戚が一番多いですが、その家族もわからないことが多いです。障がい者になったこともないし、障がいの知識がないので、総合的な窓口につながる仕組みが大事であると考えます。

委員：障がい者に対するサービスがたくさんあることを知りました。相談したいのに、どこへ行けばいいかわかりませんでした。今日少し分かった気がします。以前は、新聞で知った富山市の自立生活支援センターへ行っておりましたが、今は電話で相談に乗ってもらっています。

委員長：相談支援先については、貴重なご意見だと思うので、南砺市でも充実させていただきたいと思っています。

委員：先日、砺波地域障害者自立支援協議会の研修会に職員が参加しました。本校では重度の障がいの方が多く、地域の保育園、小学校等に通っている知的障がいの方と関わっている参加者からは、支援内容を聞きたかったという意見をいただきました。幅のある中で、一括りに障がいと言っても難しいなと感じたところです。周囲の理解が追い付いていないと、本人の不適用ばかりが目立つ状況となっています。また、災害時の避難についても周囲の理解をもって環境を整える必要があると感じています。今回の委員会で、当事者に関する目標も大事ですが、当事者を取り巻く周囲

に対しても周知が大事であると思います。

委員：砺波圏域障害者基幹相談支援センターでは、電話、FAX、ホームページで相談受付しています。砺波圏域にサービス事業所がないサービスの計画が難しいため、行政による確保策が必要です。事業所には周知、事業を興す問題があるので、市の支援に力をお願いします。

委員長：ぜひ動きの分かる確保策の記載をお願いいたします。

委員：相談先としての周知が足りないと思いますので、努力してまいります。「専門的知識や理解のある学校・放課後等デイサービスを卒業した後の居場所、環境づくりがなされていない」との自由意見にありますように、現場でもよく感じます。今まで、障害福祉サービスを利用するための相談が多かったですが、高校生の不登校に関する相談が増えてきました。また、発達障がいも増えているように感じます。この方たちの行き先、今後のことに対し、福祉サービスだけでは賄いきれないように感じており、皆さんと一緒に考えていければと思っています。

委員長：制度の谷間に落ちてしまう方が少なからずいます。多くの視点を持つことが大切です。

委員：毎月、入所の空き状況の問い合わせがあり、国の指針である入所者数の削減は厳しいと感じております。

委員：今後、素案を実行するにはお金と人員がかかります。予算を考えるうえで市議会議員を含めたらどうですか。

事務局：市議会議員全員の前で別途3回説明する機会があるので、認識していると思われます。福祉は重要なインフラであるという考えのもと、予算取りをしています。

委員長：いろいろな意見がありましたが、この目標設定は県や国との絡みがあり、今度参加する県の策定委員会では、この辺も把握しながら次回委員会につなげたいと思います。

(3) 今後のスケジュールについて

(資料に基づき事務局から説明・・・資料4)

委員長：スケジュールについて、何かご質問はありますか。

委員：(質問なし)

4 その他

事務局：次第4番目の「その他」について、事務局からは特にありません。本日は、長時間に渡りご審議いただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして「第7期南砺市障がい福祉計画及び第3期南砺市障がい児福祉計画」第2回策定委員会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

5 閉会

(午後3時40分)